

一般社団法人 千葉県理学療法士会 NEWS



2021年6月
第216号

もくじ

報 告	2
各部局士会活動案内・報告	3
編集後記	11



URL : <http://www.chiba-pt.org/>

県士会ニュース代表メールアドレス : beekun.sai@gmail.com

◆ ニュース原稿メ切 ◆

No.217 8月号 (7月下旬～8月上旬着) メ切 6月20日	No.220 2月号 (1月下旬～2月上旬着) メ切 12月20日
No.218 10月号 (9月下旬～10月上旬着) メ切 8月20日	No.221 4月号 (3月下旬～4月上旬着) メ切 2月20日
No.219 12月号 (11月下旬～12月上旬着) メ切 10月20日	No.222 6月号 (5月下旬～6月上旬着) メ切 4月20日

❖報 告❖

☑ COVID-19の影響下、今こそ半世紀を振り返ろう

一般社団法人千葉県理学療法士会
会長 田 中 康 之

突然ですが、皆さんは何歳でしょうか？私は現在56歳。ご両親が私と同じ年という同僚もいる年齢です。

では、千葉県理学療法士会は何歳かご存知でしょうか。実は今年で50歳。本県士会は50周年なのです。

設立は1971年（昭和46年）8月。わずか8名の理学療法士により結成されたと聞いております。1971年の日本人の平均寿命は男性70.17歳、女性75.58歳。この当時のサラリーマンは55歳が定年だったように記憶しています（ちなみにフロリダのディズニーワールドの開設もこの年です）。

その後、2009年（平成21）年10月1日に一般社団法人を取得しております。

それから半世紀、私が本稿執筆中の2021年（令和3年）5月1日現在、本県士会の正会員数は4,909人、会員が所属している施設は694件。男性の平均寿命は81歳を超え、女性は87歳を超えています。そして定年制を廃止して生

涯現役が議論されている現在です。

人の身体やそれを取り巻く医療が変わり、社会が変わり、その中で理学療法士の在り方・役割も大きく変貌してきております。

しかし、一つ確かなことは、先人が積み上げられてこられた実績の上に現在の私たちは存在し、そして私たちはこれから続くであろう後輩の礎に成り得るべき存在であるということです。過去無く現在是在りません。そして現在無く未来もありません。時は連綿と続くのです。さらに時代は繰り返されるとも言います。先人たちの経験をこれからの私たちに生かすこと、そして後輩に伝承することも私たちが成すべき役割でもあります。

このような節目の年は諸先輩方からこれまでの千葉県における理学療法士にまつわる話やこれからへの期待を伺うには、絶好の機会と考えております。

本来であれば、50周年記念式典を開催し、直接お話を伺うことを考えておりましたが、COVID-19の影響でそれも叶いません。

そこで、今年度は県士会ニュースやホームページ等で諸先輩方や私たちが日ごろお世話になっている関係者の皆様にいろいろとお話を伺っていきたくと考えております。次号からに乞うご期待！



❖各部局士会活動案内・報告❖

📠学術局報告

学術局担当理事 局長 藤 井 顕

新人教育プログラムは、日本理学療法士協会で開催されるeラーニングのみでも修了可能です。2021年度入会者は、受講費「無料」ですが、eラーニング申込期限が2021年11月末日、視聴期限が2021年12月末日となります。お早目のお申込みを推奨します。

2021年度の研修会予定と新生涯学習制度について

学術企画運営部 部長 小 林 好 信

2021年度の千葉県士会主催の研修会予定については、学術局ホームページにてご確認ください。今年度は、6月以降に各ブロックでも新人教育プログラムを開催する予定ですので、学術局ホームページを定期的にご確認いただき、計画的な履修をお願い申し上げます。また、他士会の生涯学習研修会を受講することもオンライン開催の利点としますので、日本理学療法士協会ホームページにて情報収集を行い、有益な研修会を受講することで日々の臨床にお役立ていただければ幸いです。2022年度からは新生涯学習制度がスタートし、職場内での実地研修も新たに始まります。詳細については、日本理学療法士協会ホームページから「マイページ→会員専用コンテンツ→新生涯学習制度」にてご確認ください。

メディカルオンライン 県士会学術誌無料閲覧サービス 2021年度版アカウントのお知らせ

学術誌編集部 部長 大 谷 拓 哉

医学文献検索サービス「メディカルオンライン (<http://www.medicalonline.jp/>)」の県士会学術誌無料閲覧サービス2021年度版アカウントをお知らせいたします。千葉県理学療法士会員は下記アカウントを用いてメディカルオンラインにログインすることにより、県士会学術誌「理学療法の科学と研究」を無料で全文閲覧することができます。ぜひご活用ください。

*アカウントは現時点から2022年3月末日まで有効です。なお、本アカウントは県士会員以外には公開されませんので、改めて会員の皆様にお知らせいたします。

マイページ履修情報確認のお願いと千葉県士会活動へのご協力登録について

学術管理部 部長 伊 藤 新

新人教育プログラム・生涯学習研修会参加後、マイページ履修情報の確認にご協力ください。

新人教育プログラムの修了手続きは、修了要件（15単位取得）後、ご本人により、日本理学療法士協会ホームページのマイページから修了申請手続きを行なってください。

マイページログイン > メニュー：生涯学習管理 > 履修状況確認 > 新人教育プログラム > 次へ > 修了申請ボタン

新人教育プログラム修了後のポイントの取得にはマイページで専門分野への登録を済ませておくことが必要となります。

マイページログイン > メニュー：生涯学習管理 > 専門分野登録

生涯学習制度は、2022年度より新たになりますが、現行制度での新人教育プログラムを終えられ移行されることを推奨いたします。千葉県理学療法士会でもリモート開催による研修会を開催いたします。千葉県理学療法士会ホームページよりご確認ください。

県士会の研修会をはじめとして、様々な活動に関してご協力頂ける会員を募り、各部局・委員会・ブロックなど県士会内で情報を共有し多くの会員が県士会活動に参加できる体制作りを推進していきたいと考えております。千葉県理学療法士会ホームページの登録フォームからご登録いただきますよう皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

学術局研究支援部より

研究支援部 部長 稲 垣 武

研究支援部は、「千葉県士会員の学術推進を図るため、研究の支援を行うこと」を目的として結成された部門です。昨年度は、「PTの研究力を高める研究支援セミナー」と題して、合計6回のオンラインセミナーを開催しました。内容としては、「研究方法」「文献レビュー」「抄録の書き方」「プレゼンテーション」「論文作成」などで、ど

れも盛會に終えることができました。

今年度も、県士会員の皆様の研究活動に役立つようなセミナーを企画していきます。また、「新生涯学習制度」の中の「症例検討会」も試験的に開催する方向で検討中です。千葉県理学療法士会ホームページ等を適宜ご確認いただき、どちらもふるってご参加ください。

職能局報告

♪ワークライフバランス部便り♪

WLB部 矢部 綾子

2020年4月、新型コロナウイルス感染拡大防止として、第1回緊急事態宣言が発出され、早1年が経過しました。現在（2021年4月中旬）は「第4波到来か?」「変異株の発生・流行」などの状況下にあります。

長引くコロナ禍、皆さんの職場ではメンタルヘルスへの配慮や取り組みを行っていますか？蓄積される疲労・ストレスは放置せず、積極的なケアが必要です。

日本理学療法士協会 新型コロナウイルス対策本部 理学療法業務担当 働き方作業部会の報告書（2020年10月5日）によれば、会員を対象にしたアンケートにて、新型コロナウイルスに関連した不安や悩みがあると答えた方が82.1%（884名/1,077名）でした。その内容の多くは、医療従事者として感染することや媒介者にならないかという不安、家族や職場で感染者が出た場合の業務や感染対策、自分の関わった場面でのクラスターの発生に加え、自身の心身の健康管理に不安や悩みを感じていたとの回答でした。

またプライベートに関しても行動や移動の制限などがあり、旅行や会食、外食を控えざるを得ない、実家へ帰省できないなど、さらに精神的ストレスの蓄積されやすい生活が続いています。

普段からストレス解消のためのセルフケア、職員への精神的なフォロー・サポートが重要となります。

4月に入職された新卒者の方々も、業務に慣れ始め2ヶ月が経過した頃と思います。前年度は臨床実習を学内で実施せざるを得なかった養成校が多かったため、まだ実際の臨床現場での戸惑いや不安もあるかも知れません。何となくの不調や心配事などがあるときは、家族や友人、職場の同僚・上司へ相談するなど、まずは気兼ねなく話しをしてみてください。

職場内でも、普段から積極的に相談できる環境づくり

は、コロナ禍のような緊急時にも働く職員を支援するための基本となります。大変な時こそ、お互いに気遣い支え合える関係でいたいですね。

厚生労働省で開設している「こころの耳」働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト <https://kokoro.mhlw.go.jp/>では、働く人の心の健康に関するさまざまな情報を提供しています。

職場のメンタルヘルス対策で困ったときなど、ご参照ください。

令和3年4月介護保険報酬改定とその業務相談の案内

介護保険部 部長 大塚 剛

この原稿が皆様のお手元に届いているのは6月頃と思われる。このころにはこの原稿を書いている4月より報酬改定に関わるQ&Aが多く発出されていることでしょう。

今改定の主な所はリハビリマネジメント加算の算定がさらに厳しい改定内容となったことです。その概要は※LIFEの運用が開始され、上位の加算には、リハビリ実施計画書を含むケアの情報を厚生労働省へ情報提供することが必須となりました。

これらの算定にはこれまでとは異なる環境や作業が必要となり、疑問も生じてくると思われます。これになるべくお答えできるよう令和3年4月改定の相談も含め、皆様と一緒に考えていきますのでご希望の方は以下のアドレスまでご相談ください。

介護保険業務相談メールアドレス宛先
chibaptaigo@yahoo.co.jp

※LIFE「科学的介護情報システム（Long-term care Information system For Evidence; LIFE ライフ）」の略。介護保険でのケア及びリハビリテーションのデータ提出とそのフィードバックを厚生労働省とWEBを通じて行うシステム。従来、ケアはCHACE、リハビリテーションはVISIT、として運用が開始されたが、令和3年4月に一体化されLIFEとなった。



☑地域ケア会議・介護予防推進リーダー 導入研修実施報告

地域包括対策委員長 中 溝 正 浩

3月28日に令和2年度の推進リーダー導入研修をリモートで開催しました。両方合わせて31名の参加がありました。

リモートで開催するにあたって……

- ①地域ケア会議、介護予防ともにこれまで各1日で行われていた研修を各半日でどのように行うか。半日で行う場合、協会の承認は得られるのか？（受講者の負担を考慮し、時間を短縮した上で休憩時間も多く設定するため、資料やプログラムを再作成する必要がありました）
- ②グループワークをどのように行うか？（2つの研修を受講する方も多いため、当日欠席や途中で退席などが出た場合、司会や発表といった役割が連続しないように調整をその場で行う必要がありました）

などそのほかにも多くの課題があったため、開催が遅くなってしまいました。

当日は欠席者も数名ありましたが、事前検討の成果が活き、スムーズに進行できました。リモートでのグループワークも議論がしっかり行えており、所期の目的を達成できたと感じる内容でした。

さて、推進リーダー研修の目的ですが、地域ケア会議においては「地域ケア会議の目的を踏まえた上で、会議に参加し、自立支援に繋げる助言ができる」理学療法士の養成です。介護予防においては「単に体操をする理学療法士ではなく、効果的な予防プログラムを企画・提案ができる。多職種や住民との協働による予防プログラムを企画・提案ができる」理学療法士の養成です。

特に、地域ケア会議は様々な職種、職域の方が一堂に会する中、理学療法士がどのような発言、助言をするのか常に注目されています。一部の自治体からは、「会議の意図を汲み取れず、助言ができていない」「身体機能の細かいことを延々と話す」「難しい説明ばかりする」といった声が聞かれています。

地域ケア会議や介護予防事業への参画にあたって、この研修の受講、推進リーダーの資格は必須ではありません。しかし、「安心して地域ケア会議や介護予防事業を任せられる」「理学療法士に頼んでよかった」

と思われるような人材を養成することは資格の有無以前に職能団体として必要なことです。

今年度もリモート研修を基本として開催を予定しています。自治体の事業に参画する予定、参画したい方はぜひ研修を受講してください。

☑各ブロック報告

●香取海匠ブロック

香取海匠ブロックでは、令和3年度新人教育プログラムを下記の日程にてオンラインでの開催を予定しております。なお、9月開催のC-5、C-7は当ブロック活動の紹介や新人さん達との交流会も兼ねておりますので香取海匠ブロック会員のみを対象とさせていただきます。詳細に関しては、千葉県理学療法士会HPをご確認ください。多数の方のご参加をお待ちしております。

- 7/14（水）19：00～ A-5 理学療法における関連法規
- 7/14（水）20：20～ B-3 統計方法論
- 9/15（水）19：00～ C-7 士会活動・社会貢献
- 9/15（水）20：10～ C-5 地域リハビリテーション
- 11/10（水）19：00～ A-3 リスクマネジメント
- 11/10（水）20：10～ A-4 人間関係及び接遇

●印旛ブロック

①今年度の活動予定について

印旛ブロックでは圏域の施設間交流や、近い学年同士での施設を超えた繋がり促進を目的として職能局を新設致しました。職能局主催の事業としては、各施設間の若手PTや中堅PT向け交流会を企画しております。コロナ禍での対面交流は難しいですが、反対にオンラインでの気軽さを活用して、普段はなかなか会えない他施設の同期と話せるチャンスになるかと思えます。是非横のつながりを活用してみませんか？

また、現行の新人教育プログラム制度が最終年度となるため、オンラインでの研修を企画しております。下記は仮の予定となっており、詳細は県士会ホームページをご覧ください。

- 9月14日（火）19時～20時
A-4：人間関係及び接遇
- 9月14日（火）20時30分～21時30分
B-2：クリニカルリーズニング
- 10月22日（金）19時～20時
A-3：リスクマネジメント

10月22日（金）20時30分～21時30分

D-3：理学療法の研究方法論

11月16日（火）19時～20時

C-1：神経系疾患の理学療法

11月16日（火）20時30分～21時30分

C-2：運動器疾患の理学療法

取り残しているプログラムがある方は、最後のチャンスになりますので、ご活用いただければと思います。このほかにも印旛ブロックでは様々な勉強会情報をメールで配信しておりますので、是非以下のQRコードからご登録ください。

②メーリングリストについて

印旛ブロックではメーリングリストを作成しています。すでにご登録の方もいらっしゃるかと思いますが、今年度から入職された方や、御職場にて登録されていないスタッフ様がおられましたら、以下のQRコードもしくは、メールによる登録を促していただけますと幸いです。

Mail to : nakamurak@naoso.com



☑一般社団法人千葉県理学療法士会

令和2年度 第6回理事会 議事録

日 時：令和3年1月22日（金）19時～21時30分

場 所：WEB会議

出席者：〈理事〉田中康之、薄 直宏、竹内弥彦、高橋 聡、三和真人、藤井 顕、松川基宏、小川明宏、中村亮太、外口徳章、藤川孝彦、榎尾英之、中溝正浩、山岡郁子、森田悠介、児玉美香、西田裕介、渡辺政基、村田量優

〈監事〉西山晴彦、吉田久雄、宮前信彦

〈委員長〉内村 元

〈欠席〉上田知成、工藤 誠、高杉 潤、茂木忠夫、山崎 敦、齋藤義雄、松田 徹、井田興三郎

〈事務局〉萩原千春

〈書記〉黒川 諒

報 告

1. 会長報告

- ・令和3年度の各局活動において、対面形式での開催が必須であるものを各局で選定し、三役へ報告することが共有された。
また、各事業に関して、対面形式、オンライン開催の選択を精査していくことが報告された。

2. 事務局

- ・会員動向 勤務先会員4,531名 自宅会員496名 計5,027名
休会491名 施設数676
- ・県士会ホームページを利用した情報発信について 会員へ情報が円滑に発信できるよう、ホームページでの情報発信に加え、県士会の公式Twitterアカウントを作成することが決定した。

3. 学術局

- ・ブロック担当者向け学術研修会
2月27日（土）19時より、ブロックによる令和3年度新人教育プログラム研修会の開催に向け、ブロック担当者向けに研修会を開催することが報告された。

- ・生涯学習研修会
4月25日（日）の生涯学習研修会（講師：村永信吾氏）について、オンラインで開催することが報告された。
- ・新人歓迎セミナー
5月16日（日）10時よりをオンラインで開催することが報告された。

4. 公益事業局

- ・各ブロックにおける活動と公益事業局の活動との関わり方について検討された。

5. 職能局

- ・介護保険改定に関して、会員への発信に向けた情報収集を行なっていることが報告された。

6. 各委員会より

- ・訪問リハビリテーション実務者研修会実行委員会
2月14日（日）千葉県生活期リハビリテーション合同研修会を開催することが報告された。
- ・表彰審査委員会 優秀賞の表彰に向けて準備を行なっていることが報告された。
- ・災害対策委員会 事務局のBCP業務について共有された。
- ・県士会50周年準備委員会
県士会50周年記念誌を令和4年度中に発行する予定であることが報告された。
- ・WEBコンテンツ委員会
WEBコンテンツ委員会の活動予算案が提案され、承認された。
- ・ハラスメント対策委員会
3月14日（日）ハラスメント研修会開催に関してブロックへ情報発信することが報告された。
- ・研究倫理委員会
令和2年度4月より、利益相反に関する規定を作成したことが報告された。
また、利益相反管理部会を設置することが報告された。

7. 議 題

- 1) 第25・26回千葉県理学療法士学会
 - ・事前参加登録が開始されたことが報告された。
 - ・各シンポジウム、オンライン開催における規定

等の打ち合わせが進められていることが報告された。

2) 臨床実習指導者講習会

- ・今年度の実績について報告された。今後開催分に関しては、緊急事態宣言を鑑みて開催を検討していくことが報告された。
- ・2021年度の臨床実習指導者講習会の開催に関して、2021年度の開催計画が報告・審議された。受講者の県士会員比率を50%以上とすることが提案され、承認された。
2021年度臨床実習指導者講習会の講師・世話人の要件について審議され、都道府県講習会受講者のうち、養成校教員と経験年数10年以上の指導者を要件とすることが決定した。

3) 各ブロック報告

- ・千葉 3月26日 千葉市内の養成校教員との情報共有会が行われることが報告された。
- ・東葛南部 1月28日 ブロック内ミーティングが行われることが報告された。
- ・東葛北部 2月7日 オンラインで運動器に関する研修会を開催することが報告された。
- ・印旛 佐倉市からの委託事業としてケーブルテレビの番組へ出演したことが報告された。
- ・山長夷 1月27日 ブロック内会議予定。
- ・香取海匠 2月4日 コアメンバー会議を開催予定であることが報告された。
- ・安房 1月29日 次年度事業計画に向けた会議を開催することが報告された。
- ・君津 1月30日 次年度事業計画に向けた会議を開催することが報告された。
- ・市原 COVID-19の感染拡大の状況を踏まえて、会議等検討することが報告された。

8. その他

- 1) 監事推薦について
監事推薦について、吉田監事、西山監事、宮前監事を推薦することが提案され、承認された。
- 2) 代議員推薦について
各ブロックコアメンバーを推薦することが提案

され、承認された。

- ・各市町村から代議員が選出されるよう、推薦することが提案され、承認された。
- 3) 代議員との意見交換について
 - ・現行の代議員に対し意見交換会を2月後半に開催予定。
 - ・次期代議員もオブザーバーとしての参加を可能とすることが提案され、承認された。
- 4) 第27回及び第28回学会長について
 - ・第27回県士会学会の学会長は西田理事に決定した。
 - ・第28回県士会学会の学会長は松田理事に決定した。
- 5) 自宅会員の意見反映について
 - 自宅会員への情報の発信、意見の集約方法について、職能局で検討していくことが決定した。
- 6) 第33回関東甲信越ブロック学会のJ-stageアップ
 - 第33回関東甲信越ブロック学会の抄録をJ-stageに掲載することに関して、事務局で進めていくことが報告された。
- 7) ブロック活動の方針について
 - ・ブロック活動推進の目的について、田中会長より共有された。
 - ・市町村化に向けた基盤整理を進めることが共有された。
 - ・田中会長より活動指標案が共有された。
 - ・コアメンバーの人選方法について、共有された。
- 8) 連盟について
 - 連盟の次期会長に関して、検討することとなった。
- 9) 新生涯学習システム・新会員管理システム
 - ・生涯学習ポイントの履修期限の延長に伴い、第27回県士会学会の開催日程を今後検討していくことが報告された。
 - ・各ブロックにて開催される新人教育プログラムに関しては、当初の予定通り2021年12月までの開催とすることが報告された。

次回、第7回理事会

日 時：令和3年2月24日（水）19時～（予定）

会 場：WEB会議

令和2年度 第7回理事会 議事録

日 時：令和3年2月24日（水）19時～21時

場 所：WEB会議

出席者：〈理事〉田中康之、薄 直宏、竹内弥彦、高橋 聡、三和真人、藤井 顕、高杉 潤、松川基宏、小川明宏、中村亮太、外口徳章、藤川孝彦、榎尾英之、工藤 誠、中溝正浩、児玉美香、西田裕介、渡辺政基、村田量優、山崎 敦、松田 徹
 〈監 事〉西山晴彦、吉田久雄、宮前信彦
 〈委員長〉内村 元
 〈委任状〉山岡郁子、森田悠介、齋藤義雄
 〈欠 席〉上田知成、茂木忠夫、井田興三郎
 〈事務局〉萩原千春
 〈書 記〉黒川 諒、菊池俊明

報 告

1. 会長報告

- ・千葉県POS連携推進会議にて、第5回「千葉県介護予防の推進に資する専門職育成研修」を開催したことが報告された。

2. 各局報告

1) 事務局

- ・会員動向 勤務先会員4,525名 自宅会員494名 計4,999名
休会523名 施設数679
- ・Twitterの県士会公式アカウントを開設したことが報告された。

2) 学術局

- ・研究支援部 研究支援セミナーに関するアンケートの結果が共有された。

3) 公益事業局

- ・令和3年度健康安全運転講座の開催に伴う協力依頼（ダイハツ千葉）について報告された。

4) 職能局

- ・介護保険改定に関して、士会ニュースへ掲載の準備を進めていることが報告された。



3. 各委員会報告

- 1) 災害対策委員会
事業計画、予算案について報告された。
- 2) 表彰委員会
永年勤続表彰の準備を進めていることが報告された。

4. 各ブロック報告

- ・千葉 3月26日(土)管理者の集いの開催予定しており、Web開催のため、県全体へ周知していることが報告された。
- ・東葛南部 3月にブロック役員選挙をすることが報告された。
- ・東葛北部 研修会を開催したことが報告された。Web開催時の課題等について共有された。
- ・印旛 佐倉市の介護予防動画の作成依頼を受け、動画を作製していることが報告された。
- ・山長夷 ブロック長の交代について報告され、承認された。
3月2日(火)コアメンバー会議にて、令和3年度の事業計画を検討することが報告された。
- ・安房 令和3年度の事業計画を検討していることが報告された。
- ・君津 令和3年度に新人教育プログラムを開催に向けて計画していることが報告された。
- ・市原 3月24日(水)各施設の代表者の集いを開催予定であることが報告された。

5. 議題

- 1) 第25・26回千葉県理学療法士学会
 - ・Web開催に伴う事前参加登録、当日の開催方法等について報告された。
- 2) 第27回千葉県理学療法士学会
 - ・局長以上の組織編成について報告された。
 - ・開催日を令和4年3月13日(日)とすることが報告され、承認された。
- 3) 臨床実習指導者講習会延期開催について
 - ・3月13、14日に開催予定であった講習会について、中止したことが報告された。

また、中止となった講習会に関して、延期開催として調整していることが報告された。

- 4) 代議員の追加推薦について
 - ・各ブロックコアメンバーからの選出に向け、準備を進めていることが報告された。
- 5) 会員の所属について
 - ・居住地と勤務先の自治体が異なる場合の所属県士会について、検討された。

6. 令和3年度事業計画・予算案について

- 1) 事業計画立案の共有
 - ・公益事業局より、事業計画の中に、対面事業の開催を組み入れることが報告された。
 - ・Webコンテンツの作製に伴う経費の事業計画・予算の取り扱いについて確認された。
また、Webコンテンツを作製した際の承認、公開の手順等について検討していくことが報告された。

次回、第8回理事会

日時：令和3年3月25日(木)19時～

会場：WEB会議

令和2年度 第8回理事会 議事録

日時：令和3年3月25日(木)19時～21時

場所：WEB会議

出席者：〈理事〉田中康之、薄 直宏、竹内弥彦、高橋 聡、三和真人、藤井 顕、高杉 潤、松川基宏、小川明宏、中村亮太、外口徳章、藤川孝彦、榎尾英之、工藤 誠、中溝正浩、児玉美香、西田裕介、渡辺政基、松田 徹、森田悠介、山岡郁子
 〈監事〉西山晴彦、宮前信彦
 〈委員長〉内村 元
 〈委任状〉齋藤義雄
 〈欠席〉上田知成、茂木忠夫、井田興三郎、村田量優、山崎 敦
 〈事務局〉萩原千春
 〈書記〉黒川 諒、菊池俊明

報 告

1. 会長報告

- ・千葉県知事選挙にて熊谷俊人氏が当選したことが報告された。

2. 各局報告

1) 事務局

- ・会員動向 勤務先会員4,453名 自宅会員472名 計4,999名
休会571名 施設数683

2) 学術局

- ・2月21日 令和3年度新人教育プログラム研修会の開催に向け、ブロック担当者向け研修会を開催したことが報告された。
- ・WEBコンテンツ委員会及び事務局にて、情報発信について検討していくことが共有された。

3) 公益事業局

- ・高校野球の千葉県予選に合わせ、サポートを予定していることが報告された。
- ・障害スポーツに関して、サポートメンバーを募集していることが報告された。

3. 各委員会報告

1) 臨床実習指導者講習会

- ・今年度中止になった臨床実習指導者講習会に関して、代替の講習会を予定していることが報告された。

2) 災害対策委員会

事業計画、予算案について報告された。

4. 各ブロック報告

- ・千葉 千葉市内の養成校によるシンポジウムを行うこと予定について報告された。
- ・東葛北部 心臓リハビリテーションのネットワークを構築するために、提供体制の調査を検討していることが報告され、承認された。
- ・山長夷 ブロック長の交代について検討していることが報告された。
- ・市原 各施設の代表者で情報交換会が行われたことが報告された。

5. 議題

1) 令和3年度事業計画・予算案について

会議の回数、開催時間に配慮して行うこと、千葉県理学療法士会経理運用基準について共有された。

また、事業計画の検討が行われ、令和3年度予算案について承認された。

2) 第25・26回千葉県理学療法士学会

・参加者数492人であった。また、アンケート結果の内容についても報告された。

運営について、事務局、運営局についての業務を委託したことで委員の負担も軽減された。

3) 第27回千葉県理学療法士学会

・4月頃を目途に引継ぎ等を行っていくことが報告された。

4) 代議員の選挙の欠員について

代議員の追加推薦について、追加推薦に関する規定等について共有された。

5) 50周年記念式典について

コロナ感染症を考慮して、時期を検討していくことが提案され、承認された。

6) 千葉県理学療法士連盟について

体制の構築に向けて検討していることが報告された。

7) 令和2年度の事務局予算について

令和元年度のニュース発行に係る予算の未執行分に関して、今年度の予算から補充することが提案され、承認された。

次回、令和3年度第1回理事会

日 時：令和3年4月26日（月） 19時～

会 場：WEB会議



❖ 編集後記 ❖

●ふりかえり

ニュース編集部 部長 纈 纈 琢 磨

新緑の色が日を追うごとに鮮やかになってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。ニュース編集部部長の纈纈です。会員の皆様いつも県士会ニュースをご覧いただきありがとうございます。

さて、今回のニュースの冒頭にCOVID-19の影響下、今こそ半世紀を振り返ろうとありましたが、私は今年で43歳になります。まだ生を受けて半世紀にはなりません、田中会長の巻頭のお言葉を読み、過去を振り返ってみました。

自分の人生の中で、私の祖父が良く言っていた言葉が自分の座右の銘にもなっています。『人生何事も経験だ』です。良いことも悪いことも経験することで何か得られる物があります。勿論、悪いことは多く経験するべきではないですが、悪いことを経験すること

で、悪いことを回避できたり、上手に対応出来たりする様になると思います。

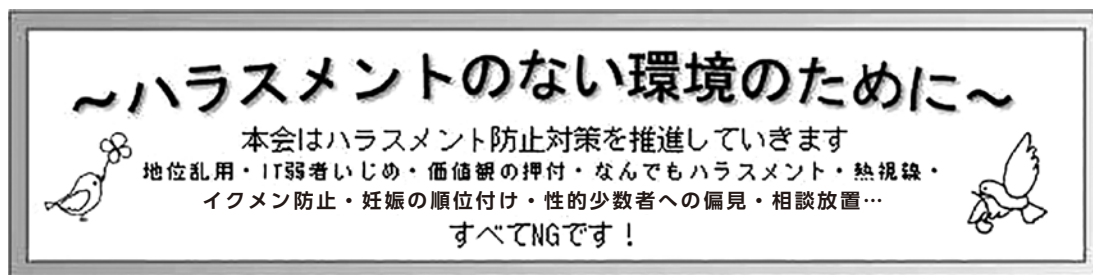
また、人生何事も経験だ！と思うと、ちょっと躊躇してしまう事柄や、少し大変そうだな……と思う事でも、よし！やってみよう！と思えます。

私の43年間を振り返り、改めて『人生何事も経験だ』が、ここまで私を導いてきてくれていると再確認することが出来ました。

この県士会ニュースも諸先輩方が作ってきてくれた物です。諸先輩方の思いも引き継ぎ、今後も新しい事にも挑戦していきたいですし、以前掲載していた施設紹介や理事の皆様からの一言などを再開しても面白いかな……など、今後も会員の皆様へ県士会活動がより伝わるように努力していきたいと思えます！！

最後になりますが、つたない文章を最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

次回のニュース原稿の締め切りは
令和3年6月20日です！



問い合わせ先

- 千葉理学療法士会ホームページ
<http://www.chiba-pt.org/>
- 求人広告のお申込・お問い合わせ
chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp
- ニュース編集部
部長 纈 纈 琢 磨
t.kouketsu@asunarogroup.com

※当県士会ニュースの無断転載・引用はかたくお断りいたします

発行人 田 中 康 之

発行 一般社団法人 千葉県理学療法士会
事務局

〒260-0013 千葉市中央区中央1-11-1
千葉中央ツインビル1号館1005号室
Tel 043-301-3065/Fax 043-301-3066
(電話対応の詳細はHP参照)

Mail chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp

編集部 部長 纈 纈 琢 磨

医療法人社団 君津あすなろ会
小見川あすなろクリニック

〒289-0314 千葉県香取市野田280-1
Tel 0478-79-5683/Fax 0478-79-5684
Mail t.kouketsu@asunarogroup.com